

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2025年11月28日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	いであ株式会社
所在地	〒154-8585 東京都世田谷区駒沢3-15-1
代表者役職・氏名	代表取締役社長 田畠 彰久
担当者連絡先	電話: 03-4544-7603 (担当: 白石) メール: siraishi@ideacon.co.jp
ウェブサイトURL	https://ideacon.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和28年に創業した社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタントであり、港湾分野では調査、計画、設計、管理、評価等の業務を実施しています

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	カーボンニュートラルの推進	カーボンニュートラルポート、ブルーインフラ、洋上風力等関連事業への参画 【現状】4件/年 【目標】8件/年
✓環境 ✓社会 □経済	子どもたちに身近な環境に興味をもつてもらい、理解を深めてもらうことを目的に、各地の環境イベントに参画する	東京湾大感謝祭をはじめとする環境関連のイベントへの参画
□環境 □社会 □経済		

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	社内規則に個人の基本的人権と自主性の尊重を明記					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント対策の内容および相談窓口を周知 ・全職員を対象にした研修会を実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働時間の管理や柔軟な働き方がしやすい環境を整備 ・ノー残業デーの設定								8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	社内規程に安全管理、衛生管理に関する基本事項を定め、取組を推進		3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・ストレスチェックの実施 ・産業医による面談の実施 ・「健康経営優良法人」認定		3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材が活躍できるよう環境の整備 ・「くるみん」「えるばし」認定の取得				5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・階層別の研修をはじめ、さまざまな能力開発、教育訓練の機会を提供 ・e-ラーニングの活用			4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	「健康経営優良法人」認定		3					8									
	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	廃棄物の分別や使い捨て製品への配慮など3R活動を実施											11.6	12.4 12.5		14.1		
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	電力使用量、燃料使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を推進							7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・CO ₂ 排出量を把握し、排出量の削減を推進 ・TCFD提言に基づく情報開示						7.2 7.3					12.4	13.3				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
環境・社会貢献	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	法令遵守はもちろん自主基準に基づき監視測定を実施			3.9			6.3					11.6	12.4				
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・生物多様性に配慮したサービスの提供を通じ、生物多様性の保全を推進 ・生物多様性のための30by30アライアンスに参加						6.6								15		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	水道使用量を把握し、使用量の削減を推進					6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	IS014001または同等の環境マネジメント規格を取得			3.9		6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	webサイトで環境の取り組みに関する情報を正しく開示											12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	一部の社屋で太陽光発電を導入している					7.2						13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15		
	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001の認証を取得し、品質の向上を推進								9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	品質方針に「環境への配慮」を掲げ、取り組みを推進					6						12	13	14	15		
製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	社会課題の解決に資する技術開発、サービスの展開に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17
	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	環境教育活動や全国各地での清掃活動等に取り組んでいる				4							11			14	15	17
社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	経営理念、コーポレートスローガン、経営ビジョンはSDGsの達成に通じる内容であり、社内で共有している								8	9							17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	経営理念、企業行動規範を社内で共有するとともに、研修等を通じて法令遵守の徹底を図っている																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	株主総会、決算説明会、機関投資家との面談、お問合窓口などを通じてステークホルダーとの対話を促進し、影響把握・対応に努めている															16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	リスク管理委員会等を設置して対応																16
	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	企業行動規範に則り、社会に信用・信頼される企業活動に取り組んでいる																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	事業継続計画を策定								9		11		13.1				16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
カーボンニュートラルの推進	カーボンニュートラルポート、ブルーカーボン、洋上風力等関連事業への参画							7								13	14	
子どもたちに身近な環境に興味をもってもらい、理解を深めてもらうことを目的に、各地の環境イベントに参画する	東京湾大感謝祭をはじめとする環境関連のイベントに参画				4										13.3			

【記載留意事項】

- 各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- 列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）
- 今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- 取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- 「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。